

**製品名: PPP1CA マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81075**

研究使用のみ

**概要**

|        |   |
|--------|---|
| 説明     | マウスモノクローナル抗体                                      |
| 宿主     | ねずみ   |
| 応用     | WB,ELISA  |
| 反応性    | 人間  |
| 標識     | 非共役   |
| 修飾     | 未修正   |
| アイソタイプ | Mouse IgG1  |
| クローン性  | モノクローナル   |
| 形態     | 液体  |
| 濃度     | 1mg/ml  |
| 保存     | アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送     | 氷袋  |
| バッファー  | 0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。                             |
| 精製     | アフィニティー精製   |

**応用**

|      |                                      |
|------|--------------------------------------|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量  | 38kDa                                |

**抗原情報**

|              |                                 |
|--------------|---------------------------------|
| 遺伝子名         | PPP1CA                          |
| 別名           | PP-1A; PPP1A; PP1alpha          |
| 遺伝子 ID       | 5499.0                          |
| SwissProt ID | P62136                          |
| 免疫原          | 大腸菌で発現したヒト PPP1CA の精製された組み換え断片。 |

**背景**

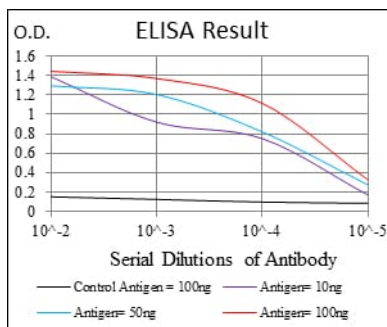
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、タンパク質ホスファターゼ 1 (PP1) の 3つの触媒サブユニットの 1つです。PP1 はセリン/スレオニン特異的なタンパク質ホスファターゼであり、細胞分裂、グリコーゲン代謝、筋収縮、タンパク質合成、HIV-1 ウィ

ルス転写など、様々な細胞プロセスの調節に関与することが知られています。心不全の末期には PP1 活性の上昇が観察されています。ヒトとマウスの両方の研究では、PP1 が心機能の重要な調節因子であることが示唆されています。マウスの研究では、PP1 が学習と記憶の抑制因子として機能することも示唆されています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 3 つの選択的スプライシング転写バリエーションが見つっています。

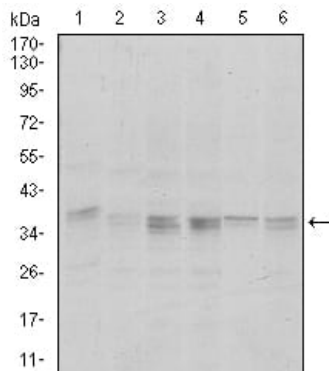
## 研究分野

-

## 画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



Hela (1)、HepG2 (2)、MCF-7 (3)、Jurkat (4)、および A549 (5) 細胞溶解物に対する PPP1CA マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。